

僕はイジメっ子？



東郷 潤

新しいクラスで、僕は前の席の奴にちょっと悪戯をした。¹



友達になりたかったんだ。



¹ 絵本「友達になれるよ」と同じ設定です。比較して頂ければと思います。

僕はあいつが怒ると思っていた。そして
僕が謝って二人で笑って、友達にな
れるって。



でもなぜかあいつは怒らなかった。

え？
無視！？



この子、悪い子だ。
もし怒ったら僕も
悪い子になる。
無視が一番！

なぜだろう？ 僕の胸が針で刺された
ように痛くなった。



友達が欲しくて、
ちょっとふざけた
だけなのに！！

胸の痛みをなんとかしたくて、僕は、またあいつにふざけてみた。後ろから髪の毛を一本抜いてみたんだ。今度こそ怒るはず。



頼むから怒って！

怒られたらすぐに謝まるんだ。だって僕は友達になりたいだけだもの。



胸に針が、もっと深く突き刺さった。

それからしばらくして、先生がお巡り
さん連れて来た。

みなさん、
今日は、警察の方から
大事なお話です！



イジメは犯罪！

すぐに通報してね。
我々正義の味方が絶対に
許さないから



僕は急に怖くなった。



あいつ、イジメられたって通報するかも。僕はすぐにあいつと話さなければいけない！「友達になりたかっただけだ」って。

休み時間、僕はあいつに話しかけた。



あ、待てよ！



胸に刺さった針がまた痛んだ。不安感も強くなった。

その後、僕は何度かあいつを追いかけて捕まえた。



こいつ、嘘をついている。

嘘をつくな！

それって悪い ことなんだぞ！



つい強く怒ってしまった。

あいつは泣いて逃げて行った。

え？ 待てよ！
泣く事ないだろう！？



大変！ ど、どうしよう！？

不安に駆られた僕はその後、またあいつを捕まえた。



彼はやっぱり嘘をつく。どうすれば嘘をやめさせられるだろう？



どうしても彼は嘘をやめない。根っから悪い嘘つきなのか？

なら誰にも言うなよ。
俺にイジメられたなんて



もし言ったら
分かってんだ
ろうな!

は、はい

その後、彼はいつも僕に怯え、僕を避けるようになった。

僕は友達になりたかった
だけなのに。僕はちっとも
悪くないのに



もう仲良くはなれない。出来るのは通報
されないようにもっと怖がらせること
だけ。他にどうしようもない。

悪いのはお前だからな！
通報するなよ



善悪はイジメを
生みます。

[筆者注]

ここでいう「善悪」は、法律・ルール・マナー・道徳といった意味ではありません。筆者は無法地帯を勧めているわけではありません。

ここでいう「善悪」とは、善悪という言葉と一体化した数十個の心理トリック・心的条件付けの集合体のことです。

詳しくは、「善悪という怪物」をご覧ください。

あとがき

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、他の方にも読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2019